

～ 線路上に止まっていた自動車と衝突して脱線した事故 ～

鉄道事業者名：東日本旅客鉄道株式会社

事故種類：列車脱線事故

発生日時：令和3年3月26日 0時07分ごろ

発生場所：茨城県土浦市

常磐線 土浦駅～^{かんだつ}神立駅間（複線）
^{にっぽり}日暮里駅起点66k689m付近

<概要>

東日本旅客鉄道株式会社の品川駅発勝田駅行きの下り普通第1269M列車の運転士は、令和3年3月26日（金）、土浦駅～神立駅間を速度約97km/hで走行中、下り線の線路上に普通自動車が横向きに止まっているのを認めた。直ちに非常ブレーキを使用したが生かずに、列車は同自動車と衝突し、約267m引きずって停止した。この事故により、1両目の前台車の全2軸が右側に脱線した。

列車には乗客66名及び乗務員2名が乗車していたが、負傷者はいなかった。

<事故現場周辺図>



※この図は、国土地理院の地理院地図
(電子国土Web) を使用して作成

<列車の脱線状態>



<自動車の損傷状況>



<原因>

本事故は、線路内に侵入し、線路上に止まっていた普通自動車に、進行してきた列車が同自動車と衝突し、同自動車が列車の1両目前面左側下部と線路との間に入り込んだことにより、1両目の前台車全2軸の右車輪がレールに乗り上がり線路右側に脱線したものと推定される。

同自動車が線路内に侵入していたことについては、同自動車の運転者が警察からの追跡を逃れるため冷静に運転することができない状態で運転中にハンドル操作を誤ったため、ネットフェンスを突き破って線路内に侵入し動けなくなったことによるものと考えられる。

<再発防止のために望まれる事項>

本事故は、普通自動車がネットフェンスを突き破って線路内に侵入したことにより起きたことから、道路管理者は、事故を未然に防ぐために、自動車運転者が安全に運転できるよう注意喚起すべき場所については、音や振動で知らせるランブルストリップス、道路鋸等や線形などを明示する視線誘導標等の設置措置を講ずることが望ましい。さらに、自動車が線路内に侵入するおそれのある箇所については、ネットフェンスより強固な防護柵（ガードレール等）の設置措置を講ずることが望ましい。

また、鉄道事業者においても設備の状況を確認し、必要により道路管理者と協議を行い、線路内への自動車の侵入を防止する装置の設置を申請することが望ましい。

詳細は、運輸安全委員会ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/jtsb>) より、鉄道事故調査報告書をご覧ください。